

評価更新企業各位

2022年11月吉日

一般社団法人 日本サッシ協会  
専務理事 坂口 治司  
一般社団法人 日本シャッター・ドア協会  
専務理事 青木 徹



「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」の改定に伴う

建築材料等評価の代表試験共同利用申し込みについてのご案内

(性能試験書の共同利用：鋼製建具・ステンレス製建具の接着工法)

拝啓

時下益々のご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より両協会の事業につきまして、ご理解・ご協力を賜り御礼申し上げます。

さて、皆様には令和4年9月1日付けで一般社団法人公共建築協会より案内されましたように、現「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」が、令和4年度版として改定され鋼製建具・ステンレス製建具の組立工法に接着工法が追加されました。これにより両建具の評価基準も接着工法を追加し改訂を行いますが、接着工法で製作した戸は品質性能評価取得にあたり性能確認試験を行う必要があります。

一般社団法人日本サッシ協会並びに、一般社団法人日本シャッター・ドア協会において新たに鋼製建具・ステンレス製建具ともに、JIS剛性試験と開閉繰り返し試験の成績書提出が求められています。

申請企業各位の試験費用負担等軽減を鑑み、両協会が評価申請企業に代わり実施した「性能試験成績書」を両協会と評価申請企業が共同利用することについて、一般社団法人公共建築協会からご承諾いただきました。

試験成績書の共同利用をご希望される評価企業様におかれましては、別紙申込にて12月28日までにご連絡頂くようお願い申し上げます。

試験成績書は、更新時期以外の変更申請及び、次回以降の更新時にも必要になります。  
共同利用に関しては、今回の申し込み限定します。

\*お取り扱いについて

<サッシ協会員並びに JSDA 会員様の取り扱い>

・ 性能確認試験に伴う費用（試験体制作費 公的機関実験費 事務関係費等）について申請企業数に応分した ご負担をいただくこととなりますのでご了承願います。

<両協会非会員の皆様の取り扱い>

・ 両協会の非会員企業におかれましては 両協会は品質確保の為の指導責任を負っておりますので 評価申請企業が試験成績書の共同利用するにあたり一定の条件（いずれかの協会へ入会等）を設定させていただきます。

ご負担金額については 会員様ご負担内容にもありますように 申請企業数に応分したご負担となります。（申込企業数により変動致します）

<ご負担金額のご連絡>

・ 性能確認試験費用（概算 500 万円）を申込企業数の確定後、ご連絡いたします。

以上

お問合せ先

一社) 日本サッシ協会 TEL: 03-6721-5934 FAX: 03-6721-5933

一社) 日本シャッター・ドア協会 TEL: 03-3288-1281 FAX: 03-3288-1282

## 公共建築協会への評価申請

「鋼製建具・ステンレス製建具」の接着工法試験成績書について  
下記要綱でお渡しいたします。

お手続きをしていただけますようご案内いたします。

\*本状のまま 下記必要事項を記入 捺印の上 FAX メール PDF にて送付ください。

- (一社) 日本サッシ協会 スチールドア部会宛 FAX : 03-6721-5933  
E-mail : [wake@jsma.or.jp](mailto:wake@jsma.or.jp)  
(一社) 日本シャッター・ドア協会宛 FAX : 03-3288-1282  
E-mail : [s-kaburagi@jsd-a.org](mailto:s-kaburagi@jsd-a.org)

## 申込書

- 1 「性能試験成績書」申込書を提出します。
- 2 協会として実施した試験に伴う費用の一部負担を致します。  
( 試験費用金の内容は 試験体制作費 試験費用 事務経費等です。 )  
申込企業様数が確定後 ご連絡いたします。

以上

会社名 : \_\_\_\_\_

〒 : \_\_\_\_\_

住所 : \_\_\_\_\_

電話 : \_\_\_\_\_ E-mail \_\_\_\_\_

申込担当者 : \_\_\_\_\_ 印

所属協会 (該当協会を○で囲んでください)

- 1 (一社) 日本サッシ協会                      2 (一社) 日本シャッター・ドア協会